

G7 サミットのコミュニケについて

2018年06月11日
日本アルミニウム協会

- ・6月8日及び9日、カナダ・ケベック州にて開催されたG7 シャルルボワ・サミットに安倍総理を含む各国首脳が出席し、コミュニケ(共同声明)が発出されました。
- ・同コミュニケでは、アルミニウムの過剰設備について、次のとおり言及されています。
 - ・G7 シャルルボワ首脳コミュニケ(アルミニウム関連部分のみ抜粋)
“5. 我々は、アルミニウムやハイテク等のその他の分野における過剰能力を避ける緊急の必要性を強調する。”
(出所)外務省ホームページ https://www.mofa.go.jp/mofaj/ecm/ec/page4_004125.html
- ・当協会を含むカナダ、欧州及び米国の各国アルミニウム協会は、6月3日～4日に、カナダのモントリオールで、「アルミニウム・サミット」を開催し、アルミニウムの設備過剰についての問題を共有し、その解決のための「アルミニウムのグローバル・フォーラムの創設の要請」を決議し、G7及びG20各国政府宛に発出したところです。
- ・今回、G7サミットにおいて上記のような記述がなされたことは、アルミニウムのグローバル・フォーラムの設置に向けた重要な第一歩と考えられます。

(お問い合わせ先)

一般社団法人日本アルミニウム協会 事務局 小貫
電話 03-3538-0221